

「新時代の学び」に向けた1人1台タブレット端末の貸し出しについて ～児童・生徒編～



「教えてもらう」学習から「自分で学びとる」学習へ

そもそも何のためのタブレット端末の貸し出しなのでしょうか……

これからの学習は、先生方から「教えてもらう」ものから、自分たちで「学びとる」ものへと変わっていきます。自分から調べたり、記録したり、意見を出し合ったりする道具として積極的に活用してください。その適切な使い方そのものも、みんなで考えていきましょう。

タブレット端末を使用するとき大切にすること



○OIDとパスワードを大切にす

学習に必要なアカウント(ログインのためのID、パスワード)を作成して、クラウドサービス上で情報のやりとりをします。自分のIDやパスワードは他人には教えません。また、他の人のものも聞いてはいけません。

(ロイロノート、
メタモジノートなど)



○自分や相手の権利を大切にす

写真を撮ったり、録音・録画を行ったりするときは、相手の許可を得ます。



○個人情報を大切にす

自分や他の人の個人情報(氏名、写真、住所、電話番号など)をインターネット上に公開しません。



○タブレット端末を大切にす

タブレット端末は大切に扱います。もしも故障や破損、紛失等があれば、すぐにうちの人と先生に報告をします。



○心と体を大切にす

使用する時間をうちの人と相談して決めて、ルールを守って使用します。長時間の使用や寝る前の使用は行いません。



○得意なことを作品にしよう

音楽やイラスト、映像やプログラミングなど自分が得意なことを作品にすることで創造力が高まります。



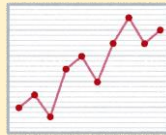
○学習したことを表現しよう

学習したことを新聞や映像などで表現すると、内容だけでなく、調べる力やまとめる力も高まります。



○現実の情報からも考えよう

実験・観察の記録やアンケート結果などの現実の情報をもとにして考えることも大切です。



○著作権を大切にしよう

他人の著作物(文章、音楽、絵、画像など)は相手の許諾を得ることができれば利用することができます。



○情報の中身を確認しよう

ネットの情報は事実とは限りません。その出所や他の情報を調べたりして中身を確認しましょう。



○相手の気持ちを考えて言葉を選ぼう

おたがいが気持ちよく使えるように、相手の気持ちを考え、言葉を選べるようになりましょう。



○目を休ませながら使おう

画面の明るさに気を付けて、正しい姿勢で見ます。また、ときどきは遠くを見て目を休ませるようにしましょう。



○得られた情報を役立てよう

タブレット端末の良い使い方や役に立つサイトを見つけたら、先生や友達に広げて、さらに役立てましょう。



タブレット端末の「かしこい使い手」になるためには、相手を思いやるやさしい心や、不適切な使い方をしないような正しい心が必要です。ルールを守りながら適切に活用できるように考えていきましょう。

